

エックス線作業主任者試験 公表問題の解答と解説 2022

P79

問2の解説

[誤]

Bの記述は誤り。組織加重係数が最も大きい組織は生殖腺である。(エックス線作業主任者テキスト2009, 9.2.3表9.2参照)

[正]

Bの記述は誤り。脳に割り当てられている組織加重係数は、大きな値ではない。

表 組織加重係数 (ICRP2007 勧告)

組 織	組織加重係数
骨髄 (赤色), 結腸, 肺, 胃, 乳房	0.12
生殖腺	0.08
膀胱, 食道, 肝臓, 甲状腺	0.04
骨表面, 脳, 唾液腺, 皮膚	0.01
残りの組織の合計	0.12

P89

問9の解説

[誤]

Bの記述は誤り。組織加重係数が最も大きい組織は生殖腺である。(エックス線作業主任者テキスト2009, 9.2.3表9.2参照)

[正]

Bの記述は誤り。脳に割り当てられている組織加重係数は、大きな値ではない。

表 組織加重係数 (ICRP2007 勧告)

組 織	組織加重係数
骨髄 (赤色), 結腸, 肺, 胃, 乳房	0.12
生殖腺	0.08
膀胱, 食道, 肝臓, 甲状腺	0.04
骨表面, 脳, 唾液腺, 皮膚	0.01
残りの組織の合計	0.12

エックス線作業主任者試験 公表問題の解答と解説 2021

P77

問2の解説

[誤]

Bの記述は誤り。組織加重係数が最も大きい組織は生殖腺である。(エックス線作業主任者テキスト2009 第9章 表9.2 参照)

[正]

Bの記述は誤り。脳に割り当てられている組織加重係数は、大きな値ではない。

表 組織加重係数 (ICRP2007 勧告)

組織	組織加重係数
骨髄 (赤色), 結腸, 肺, 胃, 乳房	0.12
生殖腺	0.08
膀胱, 食道, 肝臓, 甲状腺	0.04
骨表面, 脳, 唾液腺, 皮膚	0.01
残りの組織の合計	0.12

P92

問2の解説

[誤]

Bの記述は誤り。組織加重係数が最も大きい組織は生殖腺である。(エックス線作業主任者テキスト2009 第9章 表9.2 参照)

[正]

Bの記述は誤り。脳に割り当てられている組織加重係数は、大きな値ではない。

表 組織加重係数 (ICRP2007 勧告)

組織	組織加重係数
骨髄 (赤色), 結腸, 肺, 胃, 乳房	0.12
生殖腺	0.08
膀胱, 食道, 肝臓, 甲状腺	0.04
骨表面, 脳, 唾液腺, 皮膚	0.01
残りの組織の合計	0.12

エックス線作業主任者試験 公表問題の解答と解説 2020

P92

問2の解説

[誤]

Bの記述は誤り。組織加重係数が最も大きい組織は生殖腺である。(エックス線作業主任者テキスト2009 第9章 表9.2 参照)

[正]

Bの記述は誤り。脳に割り当てられている組織加重係数は、大きな値ではない。

表 組織加重係数 (ICRP2007 勧告)

組 織	組織加重係数
骨髄 (赤色), 結腸, 肺, 胃, 乳房	0.12
生殖腺	0.08
膀胱, 食道, 肝臓, 甲状腺	0.04
骨表面, 脳, 唾液腺, 皮膚	0.01
残りの組織の合計	0.12